

令和4年度第1回目の スタッフミーティングを開催しました。



5月30日に、オンラインにて、きらめきプロジェクト令和4年度第1回スタッフミーティングが開催されました。周術期口腔ケアセンター長の和田尚久先生にもご参加いただき、自己紹介や令和3年度の振り返り等を行いました。

また、会の最後には、きらめきプロジェクト副プログラム責任者である九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科助教の永吉絹子先生が、「効果的な女性外科医師の育成とキャリア継続支援への取組と課題」と題し、所属の外科内での活動の結果報告発表をされました。



参加者で記念撮影



永吉先生の発表の模様

きらめき通信 vol.69

2022年7月（隔月発行）

性差医学に関する講義を行いました



5月31日と6月14日に、きらめきプロジェクトOGである、医療法人たかやま内科医院 院長 雨宮直子先生と、きらめきプロジェクト副プログラム責任者であり小児外科学分野・保健学科講師の宮田潤子先生を講師として、性差医学に関する講義を行いました。女性外来や心療内科の立場から、小児外科医の立場から性差医療についてお話をいただきました。昨年同様、対面式ではなく遠隔講義となりました。性差医療の大切さを学ぶ良い機会になったようです。

学生の感想(抜粋)

雨宮 直子先生



* 男女平等が叫ばれる現在の風潮で、全て平等なものとして扱った方が良いと錯覚しそうになっていたが、男女の違いに目を向けた医療を実践することが肝要であると感じた。

宮田 潤子先生



* ホルモンなどの関係で男女のいろいろな違いが知れて、面白かったです！

* コロナやうつ病に関する男女の違いやその原因に関するお話が興味深かったです。

* 問題解決のためには医療の進歩はもちろんです。医療者と患者の関係づくりも必要となると思います。良い関係を作ることで、患者さんに疾患について理解してもらったり、精神的なサポートを行ったりしやすくなると考えます。

九州大学病院 臨床教育研修センター
きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL・FAX : 092-642-5203

E M A I L : kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp

U R L : <https://www.kiramekipj.kyushu-u.ac.jp/>



日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクターを紹介します

卒後 10 年目の内科医です。医師の夫と子供 2 人の 4 人家族です。きらめきプロジェクトでの勤務は、長子出産後の約 1 年と、次子出産後の現在を合わせて通算 3 年目になります。

次子が一歳を迎え臨床復帰を考えていたところに、夫の関東への単身赴任が決まりました。新型コロナウイルスの流行もあり、2 人の幼子の育児をしながら復帰することに不安がありましたが、臨床経験を積みたいという思いが強く、きらめきプロジェクトに応募しました。

勤務内容としては、九州大学病院の外来で週に一回甲状腺の超音波検査と穿刺を担当しています。産休・育休期間が長く臨床経験が浅い私にとって、とても貴重な経験となっています。また、同じ医局の先輩方、きらめきプロジェクトに所属されている先生方と会話をしたり、同プロジェクト主催の講演会でパワフルな先生方のお話を聞くことで、刺激と活力をいただいています。

私生活では長子が小学校に入学し、新生活によりやく慣れてきたところです。元気すぎる子供たちの相手も大変ではありますが、ここ数年はそれに加えて「もし家族の誰かが新型コロナウイルスに感染したら、私一人でどう乗り切ろう」という不安が常にありました。それでも、先輩方やきらめきプロジェクトの皆様、子供たちが通う保育園の先生方、両親のおかげで何とか継続することができおり、感謝の気持ちでいっぱいです。他の人よりも小さな一歩ながら、これからも前に進んでいきたいと思っています。



2021 年春よりきらめきプロジェクトに所属させて頂いております、卒後 12 年目の歯科医師です。2011 年に顔面口腔外科に入局し、2014 年に学位を取得、その後兵庫県の市中病院に出向し、2016 年に口腔外科学会認定医を取得しました。家族構成は、同じ顔面口腔外科に勤務している夫と、4 歳長女、3 歳の双子男児の 5 人家族です。出向後 4 年間は完全に休職し日々育児に専念してまいりました。

2021 年春に 3 人の子供が 4 年保育幼稚園の年少、3 歳児クラスへの入園を期にきらめきプロジェクトに応募させて頂きました。入園が決まったとはいえ、子供は 3 人とも未熟児で生まれたこともあり病弱であったため、週 1 回の勤務からのスロースタートとなりました。初年度 1 学期は 3 人とも実質半分しか登園できず週 1 回の出勤さえ危うい状況にありましたが、2 年目になり子供達もしっかり登園できるようになり、現在は勤務日数を週 2 日にして夫と協力しながら仕事できています。

ブランクや子供の体調など、復帰前はとても不安でしたが、恩師や医局の先生方、また、きらめきプロジェクトのスタッフの皆様の温かい支えがあり、少しずつ仕事の勘を取り戻し、無事仕事に復帰できとても感謝しています。まずはきちんと出勤できるよう家庭の状況を整えることと、外来小手術や口唇口蓋裂再来等の臨床面に重点を置きましたが、今後は口腔ケア学会認定医の取得等新たな専門性も身につけていきたいと考えております。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

